

# 高知県十和村広瀬方言の立ち上げ詞

橋尾直和

## I. はじめに

1. 調査対象地： 十和村は、日本最後の清流といわれる四万十川の中流域に位置する。椎茸とお茶の生産が盛んな村である。300年以上の伝統を持つといわれる、松明の火を振りながらアユを網に追い込む火振り良が今日でも川漁師の生活を支える漁業として続けられ、四万十川の風物詩の一つとなっている。現在の人口は、3,862人、世帯数は1,262世帯、高齢者率26.7%である。平成18年3月には、窪川町・大正町・十和村が合併し、四万十町になる予定である。
2. 調査年月日 2005年9月23日 午後1時45分から2時45分まで
3. 話者： 畦地幸孝（大正14年12月18日生）
4. 調査者・調査場所：橋尾直和・話者宅
5. 調査方法：統一調査票による質問調査
6. その他：アクセントは、高の部分に棒線「ー」を、イントネーションは、上昇調のみ「↑」を施した。また、ガ行・ダ行に現れる前鼻音は、「ン」で表記した。無回答は、「NR.」と表記した。

## II. 調査結果

### I. 自己の自発的な行動を立ち上げるために、自己に向かって発信する「立ち上げ詞」

- (1) どっこいしょ。一休みしよう。  
○ヨッコイシヨ。ンドリヤ ヤスモーカ。
- (2) どうれ。出かけることにしよう。  
○ンドーリヤ。ンデカケルカ。
- (3) よいこらしよ。とうとう山の天辺に着いた。  
○ヨッコラシヨッ。トートー ヤマノ テッペンニ トイタカ。
- (4) しまった。もうちょっとで落ちるところだった。  
○シモータ。モチートッデ コケルトコロンチャッタ。
- (5) くわばらくわばら。恐ろしかった！  
○オー コワカッタ コワカッタ。
- (6) しめた！今度の魚は大きいぞ。  
○ホイキタ。コンドノ ウオワ フトイソ。
- (7) ままよ。飛び越えるしかない。  
○エーグソ。トビコスシカ テイカ。
- (8) なにくそ！負けてなるものか。

- ナニクソー。マケルモンカ。
- (9) しめしめ！誰も気がついていない。  
○シメタ。ンダレモ オランブ。
- (10) ちえつ。つまらないなあ。  
○チエツ。イヤンチャーニ。
- (11) ちくしょう！仕返しをしてやる。  
○チクショウ。ヤリカエシチャルゾ。
- (12) くそっ！覚えている！  
○クソー。オボエチョレ。
- (13) おやおや、いったいどうしたの。  
○マー。チニューシタ。
- (14) えへん、えへん。我が輩は村一番の力持ちじゃ。  
○エヘン エヘン。オラー ムライチノ チカラモチゾ。
- (15) はてな、ここはどこだろう？  
○アリヤー コカー ンドコンチャロー。

II. 他者の発話に呼応して、応答の発話を立ち上げる「立ち上げ詞」

- (16) はい、承知いたしました。  
○ホイ。エーワヨ。
- (17) はい。宜しゅうございます  
○エー。エーワエ。
- (18) ええ、ここに居ます。  
○オー。ココニ オルゼ↑。
- (19) んだ。私の傘です。  
○オー オラノガ (もの) ヨ。
- (20) さよう、さよう。あなたの言う通り。  
○ソーソー。オマエノ ユートーリヨ。
- (21) ほいきた。おやすいご用です。  
○ヨシヨシ。ヤルゼ↑。
- (22) よっしゃ。やりましょう。  
○ヨッシャ。ヤルゼ↑。
- (23) よしきた。お引き受けいたしましょう。  
○ヨッシャ。ヒキウケタ/ヤルゼ↑。
- (24) がつてんだ。一緒に行きましょう。  
○ヨイショ。イッシヨニイコーゼ↑。

- (25) かつぱのへだ。簡単だ。  
○ウン。カンダンヨ↑。
- (26) いえいえ、とんでもございません。  
○チンノチンノ。ゾーサモ チイコトヨ。
- (27) なんの、たいしたことではございません。  
○ナーニ。タイシタコトンチャ チイワエ。
- (28) なあに、擦り傷ぐらい、すぐ治るさ！  
○チーニ。スリキズングライワ ンチキ ナオラーヤ。
- (29) なにさ、いつも調子の良いことばかり言って！  
○チニュー イーヨリヤーヤ。エーコトバー (ばかり) ユーテ。
- (30) いやはや、とんだ目に遭いました。  
○デーデー。チンギナメニ オータヨ。
- (31) へん、勝手にしやがれ。  
○オー。ジューニセーヤ。ノカッテニセーヤ。
- (32) なめるんじゃねえよ。こいつ！  
○ナメナヨ。オマエ。ノオマエ。ナメナヨ。
- (33) 冗談じゃない。口から出任せを言って！  
○ジョーダンチャナイ。ンデマカセンチャローガ。
- (34) だまらっしゃい。出鱈目ばかり言って！  
○ンダマツチョレ。ンデタラメバックリ ユーテ。
- (35) そうは問屋がおろさねえ。黙ってられねえ。  
○ソーワ イカンゾ↑。オラモ ンダマツチョレンゾ。
- (36) うそもへちまもありやしねえ。我慢できねえ。  
○ウソモ クソモ アルカエ。オラモ ンダマツチョレンゾ。
- (37) 寝言は寝ていえ。このやろう。  
○ネンゴター ネットユエ。コノバカー。
- (38) あたりきしやりきのけつあな。当たり前だ！  
○アタリマエヨ。
- (39) きみようきてれつだ。それは変だ。  
○ソリヤ オカシーゾ。ウソンチャローガ。
- (40) ほほう、それは親孝行なお子さんですね。  
○ホホー。エーコンチャナー。
- (41) まいったまいった。しかたがない。  
○マイッタネー。ショーガチイワエ。

Ⅲ. 他者との関係を立ち上げるために、他者との言語情報を結節する「立ち上げ詞」

(42) もしもし、すみません。役場はどこにありますか。

○モシモシ スマンガノ。ヤクバワ ンドコニ アッローカノ。

(43) のうのう、度の人。お立ち寄り下さい。

○オーイ タビノヒト ヨッテイカンカエ。

(44) ほら、ご覧下さい。向こうに公園があります。

○ホリヤ ミヨヤ。ムコーニ コーエンガ アッロ↑。

(45) やいやい。こんなに朝早くからどこへ行くんだ？

○オイオイ。アサ 下ーカラ (早くから) ンドコエ イクンガゼ。

(46) よう、兄弟。これから何をするつもりだい？

○オー オマエ。コレカラ ナニユウ スルトモリゼ。

(47) いざ、さらば。

○オイ サラバヨ。

(48) ささ、ご遠慮なく、召し上がって下さい。

○サー エンリョセズニ タベテヤ。ノヨウ コシメシゴザレ (古)。※古語の「聞こし召し御座れ」に由来する。

(49) さて、そろそろ一服しませんか。

○オイ ベトノハナシニ ショーヨ。

(50) これこれ、ちょっと静かにして下さい。

○コリヤー チット シッドカニセンカエ。

(51) おい、こら。万引きをしてはいけない。

○オイ コリヤー。マンビキシチャー イカンヂャナイカノイケルカエ。

(52) おどりゃあ。いい加減にしないか！

○オンドリヤー タインガイニセンカ。

(53) おのれ、裏切りやがったな。

○オノレ オボイチョレ。ウランギツテ。

(54) どっこい。その手には乗らない。

○ンドッコイ。ソノテニヤー アランゼ↑。

(55) どうだ、参ったか？

○ドーンヂャ マイットゥローンガ。

(56) せいの、よいしょ！

○サーノー/セーノー ヨイショ。※綱引きのかけ声は、ヤーノー ウン。

(57) ようい、どん！

○ヨーイ ンドン/トン (古)。

(58) いっせいの、で！

- セーアー ウン。
- (59) よいしょ、よいしょ、もう一息だ！  
○ヨイシヨ ヨイシヨ。モチートゾ。
- (60) うんとこしょ、どっこいしょ。もう少しだ。  
○ヨイシヨ ヨイシヨ。モチートゾ/モチョットゾ。
- (61) わっしょい、わっしょい、祭りだ、わっしょい。  
○NR. ※御輿を担いだまま練り歩くので、このかけ声はない。
- (62) はじめはぐう、じゃんけん、ぼん！あいこでしょ。  
○チーチップ。アイコッデシヨ。アワンシヨ。
- (63) きをつけえ、まえへならえ、なおい。  
○キオトツケ マエエナラエ ナオレ。
- (64) きりつ、れい、ちやくせき。  
○キリート、レイ チャクセーキ。
- (65) ばんざい、ばんざい。やった、やった。  
○バンザーイ ヨーヤッタ。
- (66) えいえいおう。頑張るぞ。  
○エイエイオー。ガンバレ。
- (67) 中村君の誕生日を祝して、かんぱい。おめでとう。  
○ナカムラクンノ タンジョーピオ シュクシテ カンパーイ。オメデトーゴザイマ  
ス。
- (68) やっほう、やっほう。  
○オーイ オーイ。
- (69) ふれえ、ふれえ、白組。  
○フレー フレー シロツグミー。
- (70) おにはそと、ふくはうち。  
○フクワーウチ オニワーソト。
- (71) べらぼうめ。とんでも無い子だ。  
○バカスケー。チニシヨリヤー。
- (72) それみたことか、わんぱく坊主。  
○ソーリヤミヨ。ユーコト キカンケン。
- (73) ざまあ、みろ。  
○ソーリヤミヨ。ユーチャットッローガエ。エーキミヨ。
- (74) ちくしょうめ、ひどいことを言いやがる。  
○チクショー。
- (75) このやろう。どうしてくれようか。

- コノヤロー。ドーショーモナイ。
- (76) たわけ、ふざけた事を言うんじゃない。  
○バカー ホタエタコトー ユーナ。
- (77) ばかやろう、いい加減なことを言うな。  
○バカー エーヨーナコトー ユーナ。
- (78) あなかま、静かにしなさい。  
○ヤカマシー シズカニセンカ。
- (79) いいっ、静かにして！  
○シーッ ンダマレヤ。
- (80) ちちんぷいぷい、蛙、蛙、生き返れ。  
○NR。
- (81) あっかんべい、鬼さん、こちら。  
○オニサン コチラ。
- (82) あっばれ、お見事。立派です。  
○オー エライ ミンゴト ミンゴト。
- (83) でかした、でかした。日本一。  
○ヨーヤッタ ヨーヤッタ イチバン イチバン。
- (84) しっけい！すみません。  
○マー スマンネー。
- (85) あばよ、達者でな。  
○サヨナラ ンゲンキデネ。

### Ⅲ. 総括 (まとめ)

◆自己の自発的な行動を立ち上げるために、自己に向かって発信する「立ち上げ詞」について

- (1) 「くわばらくわばら」のような、不吉なこと、いやなことを避けるために唱えるまじないことばはなく、「オー」で済ませる。
- (2) 「おやおや」のような、思いがけない時や疑問のある時に言う「おや」を強めた言い方も「マー」で済ませる。

◆他者の発話に呼応して、応答の発話を立ち上げる「立ち上げ詞」について

- (1) 目上に対しての丁寧な応答詞としての「はい」に相当するのは、「ホイ」「エー」である。町内会の同僚もしくは年下に対しての応答詞としての「ええ」「んだ」に相当するのは、「オー」である。

(2)「がってんだ」「かっぱのへだ」「そうは問屋がおろさねえ」「あたりきしやりきのけつのあな」「きみようきてれつだ」などの慣用句的な決まり文句はなく、極めて簡単な表現で済ませる。

◆他者との関係を立ち上げるために、他者との言語情報を結節する「立ち上げ詞」について

(1)一斉に力を出し合って物を引き上げる時のかけ声は、「サーアー ヨイショ」「セーノ  
ー ヨイショ」がある。前者が古く、後者が新しい表現である。これに対して、綱引きの時のかけ声は、「ヤーアー ウン」となり、「ヤーアー」で始まる。

(2)節分の日の厄払いの言い方は、「福は内、鬼は外」のように「福」の方が先になる。

(3)いわゆる罵詈雑言表現は、アホではなくバカの方が優勢である。

(4)蛙を生き返させる時に用いた「ちちんぷいぷい」に相当する表現はないが、死にかかった魚を生き返させる時には、「イキイキ モンドレ。イキイキ モンドレ」のように言った。

(5)鬼ごっこなどで、鬼に舌を出して逃げる時に言う「あっかんべい」に相当する表現はない。

(はしお なおかず 高知女子大学)